

登録団体概要書

(2024年2月作成)

(ふりがな) 団 体 名		(とくていひえいりかつどうほうじんしぜんめんえいねっとわーく) 特定非営利活動法人自然免疫ネットワーク			
代表者職・氏名		理事長 吉村 寛志			
主たる事務所の 所 在 地		〒761-0301 香川県高松市林町 2557-4			
連 絡 先 等		電 話	087-813-9201	F A X	087-813-9203
		e - mail	npolsinlsin@lsin.org		
		ホームページ	https://lsin.org/		
法人設立年月		2006年3月		正会員数	個人19名、企業6社
活 動 目 的 (定款に記載された目的)		この法人は、第3期科学技術基本計画が掲げる「安心・安全で質の高い生活のできる国」の実現を、同計画が重点4分野の一つとして定めるライフサイエンス分野において達成する為、①自然免疫賦活技術研究会を実施・管理・運営し、②自然免疫賦活技術(物質、原理及び利用分野)の調査・研究及び普及・啓蒙事業を行い、③自然免疫賦活技術に係る産官学相互の技術移転支援事業を行うことにより、自然免疫機能の健康維持・環境汚染除去に対する科学技術リテラシー形成と、これを基盤とする健康維持戦略に関するアウトリーチ活動を指向し、公共の健康・福祉達成に寄与することを目的とする。			
主たる活動分野		(1) 保健、医療又は福祉の増進を図る活動 (2) 科学技術の振興を図る活動 (3) 経済活動の活性化を図る活動 (4) 消費者の保護を図る活動			
活 動 状 況	主 な 活 動	○自然免疫賦活技術研究会、日本バイオ治療法学会の運営 ○子どもめんえき教室の開催 ○免疫について学べるe-ラーニング(LPSアカデミー)の運営 ○食品、化粧品の安全性・有効性を確認する、ヒト臨床試験の倫理審査および調査・研究 ○四国健康支援食品評価会議の運営			
	活 動 地 域	香川県、福岡県、各都道府県			
	活 動 頻 度	通年			
	過 去 の 事 業 実 績	○自然免疫賦活技術研究会の開催(2001年発足) 年2回(6月、12月)、高松市にて開催。これまで65回実施。 ○日本バイオ治療法学会の開催(1997年発足) 年1回(12月)、福岡県とその他都道府県にて学術集会を開催。これまで27回実施。 ○子どもめんえき教室の開催 2022年、2023年の2回、7月に実施。			

活動状況報告書

(2024年2月作成)

団体名 特定非営利活動法人自然免疫ネットワーク

登録要件	登録要件に関する団体の活動状況等
<p>広く県民を対象とするNPO活動を行っていること</p>	<p>2022年に新事業として立ち上げた「子どもめんえき教室」では、高松市内の小学生と保護者を対象に実施。昨今科学離れと言われている中、お話を聞くだけでなく、プレパレードにヨーグルトを乗せ、染色する工程を経て、顕微鏡で乳酸菌を観察する、という体験を通して、免疫のみでなく科学に興味を持っていただけるよう工夫を凝らした教室を開催しました。</p> <p>(子どもめんえき教室開催案内ちらし(令和5年7月実施)) https://www.lsin.org/upfile/XjoGaOsKV3745j7oDbR7/00080.pdf</p> <p>食品、化粧品の安全性・有効性を確認する「ヒト臨床試験の調査・研究事業」においては、香川県内の約300名にモニター会員として登録をしていただいております。試験に協力していただいたモニター会員には、検査の結果(血液検査、CT画像、唾液検査等)を無償で提供、ご自身の身体の状態を知っていただき、健康への意識を高めるためにお役立ていただいております。</p>
<p>より公益性の高いNPO活動を行っていること</p>	<p>法人化する前の2001年に、「自然免疫賦活技術研究会」を発足し、現在、年2回(6月、12月)、香川県高松市にて研究会を開催しています。県内外から産学官関係者が参加し、自然免疫に関連する基礎研究や、素材・製品の製造、開発について、成果報告や情報交換を行っております。</p> <p>また、全国の基礎研究者や臨床医学者などが参加する「日本バイオ治療法学会」を年1回、各他都道府県で開催。バイオ治療法分野に興味をもつ方々に討論の場を提供し、がんや免疫病などの難病に対するバイオ治療法の益々の実用化をはかり、本分野の発展に寄与しています。</p> <p>(自然免疫賦活技術研究会・日本バイオ治療法学会 活動内容： https://lsin.org/kenkyuukai/index.html)</p>
<p>活発なNPO活動を継続的に行い、当該活動に発展性及び模範性があること</p>	<p>2006年の設立以来、「健康維持は自然免疫の活性化から」をコンセプトとし、“自然免疫の役割や重要性についての情報を分かりやすく発信”、“自然免疫を活性化する技術の普及”を目的として活動を継続しています。主体となる事業は継続しつつ、その時代やニーズに合う新事業の立ち上げや、常に変化していく発信ツールに有効的な活用などに、今後もチャレンジしてまいります。</p> <p>特に、子どもめんえき教室については、高松市内に加え、香川県全域に開催会場を設け、より多くのお子さんと保護者に参加していただけるよう取り組んでいきたいと考えております。</p> <p>「自然免疫」をキーワードに、安心・安全な食と環境を目指すべく、産学官で協力し、そのネットワークを香川県から全国へ、さらに世界へ広げていきたいと思っております。</p>

(注1)この報告書は、団体の活動内容が登録要件を満たしているかを審査するための資料として用い、また、団体登録された場合、寄附を検討する県民への資料として、公開されます。

(注2) 枠内に記入できない場合は、枠を広げて記入ください。A4版であれば、複数枚になっても結構です。

(注3) 活動の状況等が分かる資料等があれば添付ください。

	<p>○e-ラーニング (LPS アカデミー) の運営</p> <p>2023 年開講。通年を通して実施。</p> <p>○食品、化粧品の安全性・有効性を確認する、ヒト臨床試験の倫理審査および試験受託</p> <p>2006 年より実施。これまでに、倫理審査 20 回開催、ヒト臨床試験 12 件受託。</p>
今後の活動方針	<p>これまで主に、医師や研究者、食品・化粧品メーカー、販売企業に自然免疫について深く理解していただく活動を行ってまいりました。今後は、子どもからおとなまで多くの方に、カラダの重要な防御機能である自然免疫を中心とした免疫全般について知っていただけるよう、取り組みを進めてまいります。</p>
県民への P R	<p>さまざまな健康に関する情報がある中、消費者はどれが正しいかを自分で判断し、食品・化粧品を選ぶ「確かな目」を積極的に養う必要があると思っております。活動を通じて、より豊かな生活や健康寿命の延伸のお役に立ちたいと考えております。</p>

(注1) 団体登録された場合、この概要書は、寄附を検討する県民への資料として、公開されます。

(注2) 枠内に記入できない場合は、枠を広げて記入ください。A4版であれば、複数枚になっても結構です。